

with fukushima



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

第 5 号

応援職員広報



J ヴィレッジ

(全天候型練習場の使用が開始しました)



保健センター（相馬市）



サムライフェス



までい館（飯館村）



県道小野富岡線（五枚沢1工区）



ふたばワールド



目次	
相馬市	P 2
南相馬市	P 2
川俣町	P 4
檜葉町	P 4
双葉町	P 5
浪江町	P 6
新地町	P 6
	P 7

- ① 所属課（業務内容）
- ② 派遣元団体（出身地）
- ③ 派遣期間

相馬市・南相馬市

たかはし

高橋 ひろみ

- ① 保健福祉部保健センター（保健師業務）
- ② 愛媛県西条市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

相馬市

西条市から1年間の保健師派遣は、初めてです。
現在、任期付保健師と二人で、災害者公営団地（井戸端長屋）に出向き、健康管理や健康講座を実施しています。また、乳幼児健診や赤ちゃん訪問など保健センターの事業にも携わっています。土地勘がないため家庭訪問は一苦労しています。
福島県の面積は愛媛県の2倍以上。雄大な自然、歴史・文化の豊かさを感じています。余暇を利用して、見聞を深めたいと思っています。



わたなべ けんいち

渡部 憲一

- ① 建設部土木課（道路工事）
- ② 愛媛県西条市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

相馬市

福島人は、情に厚く、熱く語る人が多いように感じます。職場・業務に携わる人、住民の方、元気な方が多いです。
私も、その元気の一助になるように業務で貢献できるように努めていきたいです。
せっかくの機会なので、福島県の各地を巡り、楽しみたいと思います。



まつもと みつひろ

松本 充博

- ① 経済部農林整備課（ほ場整備関係）
- ② 神奈川県（大阪府）
- ③ 平成26年4月17日から平成31年3月31日まで

南相馬市

派遣されて5年目を迎えております。
3年で移動予定でしたが、引継ぎや引越が面倒で5年目を迎えてしまいました。
現在担当している業務をできるだけ完了のめどをつけて、引き継ぎたいと思っております。



南相馬市

やまもと こうすけ

山本 光丞

- ① 健康福祉部社会福祉課（障がい者福祉）
- ② 長崎県長崎市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

初めての土地での未経験の業務ですが、職場の方々に温かくご指導いただきながら、取り組んでいるところです。また、仕事が第一ではありますが、週末にはつとめて福島を楽しもうと、地元のイベントに参加したり、中通りや会津まで足を伸ばしたりしています。

その中で福島は、お酒やフルーツなど、美味しい物が盛りだくさんで、素晴らしい土地であることを実感しています。



きむら ゆういちろう

木村 祐一郎

- ① 健康福祉部社会福祉課（生活保護ケースワーカー）
- ② 千葉県千葉市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

派遣元では福祉職として福祉の現場に従事していました。災害時の社会的弱者と呼ばれる方への対応に興味があり、被災地への派遣を希望していました。

派遣され、市民の方々や、関係機関の方々と接していく中で原発事故による問題は、根深くデリケートな問題であることを実感しています。

その一方で地元を盛り上げるイベントがたくさん計画されているので、どんどん参加して楽しみたいと思っています。



いながき ゆういち

稲垣 祐一

- ① 経済部商工労政課（企業支援係）
- ② 東京都青梅市
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

南相馬市

微力ではありますが、南相馬市の復興のために仕事をしていくことで、自らも成長し、今後の糧としたいです。

不安な気持ちで赴任しましたが、職場の皆様、暖かく接していただき、とても感謝しています。これから少しずつでも、仕事で恩返しできるよう頑張ります。



川俣町・檜葉町

はかまた えいいち 袴田 栄一

- ① 学校教育課（山木屋関連整備事業事務）
- ② 福島県（静岡県）
- ③ 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

川俣町

川俣町に来て2年目。「越すに越されぬ大井川」の宿場町島田市から、学生時代お世話になった福島県で復興のお手伝いができればと、夫婦で来ました。昨年度、山木屋小中学校建設事業に携わり、今年4月に児童・生徒を迎え入れほっとしています。職場・現場仲間とともに夢中で復興業務に取り組み、充実した日々を与えられたことに感謝しています。

プライベートでは思いっきり、福島、東北を堪能しています。福島の人々のやさしさが身にしみ、福島に来て本当によかったと思っています。



いつでも相談にのっていただける
氏家課長補佐とツーショット

うえの いさお 上野 功

- ① 建設課（町道等の維持管理等）
- ② 神奈川県（埼玉県）
- ③ 平成30年4月2日から平成31年3月31日まで

檜葉町

定年退職を機に、今まで培ってきた経験を、被災地の復興に少しでも役立てたいとの、予てからの思いが実現しました。しかし、いざ着任してみると、担当業務は自分の想像とは異なっていましたが、やっとそれにも慣れ、半年が過ぎようとしています。この間、職員の皆さんには、暖かく親切に接していただき、ただただ感謝です。

福島に派遣されたのも何かの縁。福島を、東北を満喫しようと、現在、趣味の山登りにはまっています。



ちば まさひこ 千葉 雅彦

- ① 仮設住宅等対策室（特定延長世帯の相談業務等）
- ② 東京都中野区
- ③ 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで

檜葉町

檜葉町に派遣され2年目になります。

私の出身地は、檜葉町と姉妹都市の締結をしている会津美里町です。同町の応急仮設住宅敷地内にある仮設店舗等の撤去工事も行っています。

ふるさとの縁を活かしながら支援業務を行っていきたいと思っています。

写真は、西日本豪雨で被災した岡山県総社市に提供するため、檜葉町民が使用していた応急仮設住宅の移築状況です。



双葉町

わたなべ たつゆき 渡部 辰幸

- ① 総務課（行政係）
- ② 神奈川県（千葉県）
- ③ 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

双葉町

公務員人生の仕上げにと向かった先が偶然両親の生まれ育った福島だったことに贈り物もらったような縁を感じます。

復興再生の道のりを趣味のランニングに例えると一人で走るマラソンではなく『駅伝』。襷を次世代に渡す気持ちで、美しい自然や温かい笑顔に囲まれながら励む毎日です。



双葉町の皆さんと一緒に歌いました

すなば きみこ 砂場 公子

- ① 健康福祉課（保健師業務）
- ② 福島県（鳥取県）
- ③ 平成29年4月2日から平成31年3月31日まで

双葉町

被災者支援に何らかの形で携わりたいと思いやってきました。さすが東北、野馬追に象徴されるように、伝統を重んじ大げにする姿勢と熱意はすごい。だからこそ生まれた土地を離れ、手放さざるを得ない方達は断腸の思い。その重さをしっかりと受け止められる仕事をしたいと思っています。



ひだまりサロンのよう

はしもと みきこ 橋本 美喜子

- ① 健康福祉課兼生活支援課（保健師業務）
- ② 福島県（福島県）
- ③ 平成27年1月1日から平成30年10月31日まで

双葉町

<派遣の動機>震災で避難している方や働いている方のお手伝いができればと、福島県の任期付職員に応募しました。

<仕事の内容>双葉町役場郡山支所にて、主に中通り地方、会津地方に避難している方への健康支援を行っています。健康相談や訪問、健康教室、健診など住民の方と接する機会が多く、学ばせていただくことも多く、楽しく仕事をさせていただいています。

同じ福島県民でなまりもイントネーションも一緒に、「うんうん」と頷きながら聞くことができるのを強みに、今後も、住民の方の健康づくりのためにお役に立てるよう、職場の方々と協力していきたいと思っています。



浪江町・新地町

とくむら ゆうじろう
徳村 勇二郎

- ① まちづくり整備課（計画係）
- ② 福島県（神奈川県）
- ③ 平成28年1月1日から平成31年12月31日まで

浪江町

平成28年1月より福島県の任期付職員として浪江町に派遣されています。以前は私鉄で40年以上沿線の開発事業に携わっていました。定年を機に、復興の遅れている浪江町でまちづくりの経験を生かしたいと、志願しました。

浪江に来て間もなく3年経ちますが、その間、町の一部区域でやっと避難指示が解除され、町民のみなさんが帰って来て、私が携わった災害公営住宅で新しい暮らしを始められたことが一番の良き出来事です。



やまき きょうこ
八巻 京子

- ① 介護福祉課（高齢者の介護・生活相談相談業務）
- ② 福島県（福島市）
- ③ 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

浪江町

前職は民間企業の産業保健業務に従事しておりました。自身の持つ資格が少しでも災害に苦しむ方や避難町村の力になればと思い、派遣を希望しました。

行政職は初めての経験でしたが、職場上司や職員の方に支えられ日々学ぶことが多く瞬く間に、5年目を迎えました。

職場の雰囲気はとても和やかで、困りごとがあると担当を超えて、手を差し伸べ合い業務を遂行する目的がはっきり感じられます。恵まれた職場環境に感謝しています。



よしもと ゆきひろ
吉本 幸弘

- ① 復興推進課（被災者支援総合交付金、防災緑地維持管理計画に関する事）
- ② 高知県
- ③ 平成27年4月1日から平成31年3月31日まで

新地町

平成27年4月から復興推進課に勤務しており、3年半が経過しました。当初、移転促進区域の用地の買取事務が主業務ということで着任しましたが、現在は、復興庁の交付金を活用した、津波被災者の方々の心の復興やコミュニティの再形成のため、防災集団移転団地の集会所等で参加型のイベントを開催するなどのソフト事業、及び移転促進区域の有効活用のために整備を進めている釣師防災緑地（都市公園法による公園）の整備後の維持管理や運営をうまく進めるための制度的な諸準備が主な業務です。

「復興」とはどのような状態を指すのか、私の中ではまだ答えが固まりませんが、大きなプランやスケジュールを意識しながら目の前の仕事を一所懸命やることを心がけています。



新地町

ふくだ ひさお
福田 久雄

- ① 復興推進課（防災緑地の設計工事監理）
- ② 神奈川県（神奈川県）
- ③ 平成26年4月2日から平成31年3月31日まで

新地町

新地町に派遣された4年前は、まだ防集団地は造成工事中であり、私も当時は被災者の方々と仮設住宅住まいでした。この4年間で防集団地はすべて完成し、JR常磐線も再開して駅前の整備も進み、町の様子は大きく変わりました。現在は防災緑地内の福島県初めてとなるラウンドアバウト（環状交差点）の工事監理を行っておりますが、新地町の復興に今後も微力ながら貢献したいと思っております。



てらしま のぼる
寺島 登

- ① 復興推進課（工事監督業務全般）
- ② 福島県（新地町）
- ③ 平成27年5月1日から平成31年3月31日まで

新地町

私は地元出身で37年間務めた民間の建設会社を定年退職して、新地町派遣の条件で福島県任期付職員試験に応募し、現在4年目となります。

新地町の復興に向けて、他県から来られた応援・派遣職員の皆さんと共に自分ができることを前向きに取り組んでいます。



Information

市町村行政課（調整支援担当）



市町村行政課長
岸 孝志

総務部次長（市町村担当）
島田 淳

市町村行政課総括主幹（兼）副課長
二瓶 達也

この「with Fukushima」は、被災市町村で活躍する応援職員の近況を派遣元自治体へお届けするとともに、応援職員相互の交流促進に繋がりたいという想いで発行いたしました。ご多忙の中、心良く原稿作成を引き受けていただいた応援職員の皆様や、取りまとめにご協力いただいた市町村職員の皆様のご尽力により、最終号まで無事に発行することができました。本当にありがとうございました。

東日本大震災から7年余りが経過しましたが、いまだ多くの県民が県内外で避難生活を続けているほか、被災者の皆様の生活再建や風評、風化、人口減少など様々な課題が山積しております。

一方で、住民帰還につながるインフラや拠点施設の整備も進展しており、本県の復興は着実に前に進んでおります。これも、懸命に業務に取り組んでいただいている応援職員の皆様を始め、派遣元自治体の多大なご理解とご支援の賜であり、心から感謝を申し上げます。

市町村行政課職員一同、応援職員の皆様が心おきなく力を発揮していただけるよう、精一杯のサポートをさせていただきますので、引き続きよろしく願いいたします。

福島県総務部市町村行政課 職員一同